



南部町立南部中学校 学校だより 第24号

# 千一ム南部中

令和2年 3月25日(水)  
校長 望月和彦

## 56名の巣立ち

3月11日(水)に第9回の卒業証書授与式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業中の卒業式ということで、県教育委員会や町教育委員会の指導を受けながら、出席者の健康と安全を第一に考え「時間短縮・規模縮小・内容精選」の式となりました。1・2年生が出席できなかつたり、来賓の人数を減らしたり、式の中での、卒業生入場、告示、祝辞、来賓紹介、



祝電披露、そして在校生の送辞をカットしたり、今までに例のない形での卒業式となりました。例年なら、卒業生は公立高校の入試が終わった後、数日間じっくり卒業式の練習をしながら気持ちを高めていくのですが、7日間の休み明けのぶっつけ本番です。また、いつもなら在校生が会場づくりを担当し、全校生徒でリハー

サルを行うのですが、会場づくりもリハーサルも教職員だけで行い、可能な限りの準備をして本番を迎えました。

朝、久しぶりの3年生の登校に、休業中暗い雰囲気だった学校は息を吹き返したように明るくなりました。式が始まると、こんな厳しい状況の中でも卒業生56名は大変立派な姿を見せてくれ



ました。学級担任の呼名に答える声、卒業証書を受け取る姿、そして、3年間の中学校生活を振り返り、感謝とこれからの決意を表した呼びかけと合唱、そして、望月満風さんの答辞、どれもが56人の3年間の成長を表す心のこもった中身でした。南部中学校第9期生として、これまで先輩たちが築き上げてきた南部中文化をしっかりと受け継ぎ、来年度10周年を迎える本校に大きな土台をつくってくれた56名でした。時間短縮の

卒業式でしたが、感動的な中身の濃い卒業式をつくった56人に大きな拍手を送りたいと思います。私は式辞の中で次のような話をしました。

本校を卒業し、新しい進路に羽ばたく皆さんに一つ伝えたい話があります。山梨県立美術館の庭にある「カモシカと少年」という作品の作者で、大変有名な彫刻家に佐藤忠良さんという方がいます。その佐藤さんがある本の中でこう述べています。「自然を馬鹿にせず対象に立ち向かったら、いろんなことを思い切ってやってみる事です。私たちはいずれ失敗するに決まっているようなものですが、その失敗の上に脚を構え、また挑もうとすることです。そういうことの繰り返しが、いつの間にか自分の中に蓄積となって深くなっていけるのだろうと思います。失敗したらそれは、前へ進んでいるのだと思い、怖れずにまたやることです」と。

今日皆さんは南部中を卒業し、新たな進路へと巣立ちとうとしています。四月からは、今までよりも自由で広い世界が待っています。そして、中学校以上に様々なことを学び、経験し、行動するたくさんのチャンスが待っています。自分のためになるかどうかをじっくり考え、プラ

スになることだと感じたら、先ほどの佐藤さんの言葉の通り、失敗を恐れず、夢と希望を持ち、目標を決めて何事にもチャレンジする気持ちを忘れないでください。失敗は成功するための土台であり、自分を成長させるきっかけにもなります。皆さんの心や体にはまだまだ無限の可能性が秘められています。その可能性を自分の力に変え、大きく飛躍していってくれることを期待しています。私たち南部中学校の教職員はいつでも皆さんのことを応援しています。

4月には、56名それぞれが新しい進路先に進みます。中学校生活以上に自分自身で考え、自分の進むべき道を選ぶ自由やチャンスが与えられます。南部中学校で仲間と学んできたこと、力をつけてきたことに誇りを持って、新しい進路先でさらに活躍してくれることを期待しています。

新年度に学校が再開したら、残念ながら出席できなかった1・2年生に、卒業式での56名の凛とした立派な姿を映像で見せたいと考えています。

## 充実した新年度にするためには、春休み中の生活が大切

新型コロナウイルスから生徒の皆さんの健康と安全を守るために、残念ながら修了式と離任式も実施できずに、春休み（学年末・学年始休業日）に入ることになりました。春休みは3月26日から4月5日までです。（卒業生にとっては3月31日までですが）3月4日からの長期間の休みになっているので、この期間にどのように生活するかが、新年度の新しい学年で、卒業生は新たな進学先で、スムーズにスタートが切れるかどうかが決まってきます。1・2年生も、卒業生も次のことを是非守って生活してください。

### 春休み（3/26～4/5）の生活について

新型コロナウイルスに感染しないよう可能な対策をとりながら、充実した春休みにするために

- 1 今後も、学校からの必要な連絡や情報伝達は、保護者への「安心安全メール」を使って行う。メールの内容は、生徒と保護者で共有してもらう。
- 2 学校のある日と同じような生活リズムをつくり、起床・就寝、栄養バランスを考えた3度の食事、休息、学習、運動などを取り入れた規則正しい生活をする。
- 3 ゲーム、パソコンやスマホの利用時間や使い方には十分注意する。
- 4 こまめな「換気」「手洗い」を心がけ、必要に応じて「マスク」を着用する。
- 5 感染リスクを減らすため、大勢の人が集まる場所へ行くことは避ける。
- 6 学校から出された課題（高校から出された課題）や指示された自主学習を計画的に進める。  
※これができるかどうかでかなりの学力差が生まれます。
- 7 春休み期間の部活動は中止とする。（4月の地区選手権大会も中止が決定）
- 8 健康面や精神面を考え、運動時間もつくる。学校の校庭や公園、広場を使って個人又は2～3人で運動しても良い。小学校校庭などを借りる場合は、職員室で許可をいただいてから運動する。大勢で集まったり、近距離で接触したりするような運動は避ける。
- 9 春休み中の生活や家庭学習について、わからないところがあったり、不安なことがあった場合、遠慮せずに学校に電話して学級担任や担当教員に教えてもらったり、学校に来て相談したりする。学校に来る場合は、担当者が不在の場合もあるので事前に電話連絡する。  
※卒業生については、4月以降の予定や行動については進路先の高校の指示に従うこと。
- 10 必要に応じて、生徒の学習や生活状況を確認するために本校教員が電話連絡や家庭訪問をさせていただきます。
- 11 発熱やだるさが続くなど、健康面で心配がある場合は、学校に連絡する。

※新年度のスタートとなる4月6日・7日の予定については、家庭訪問の際にお届けした「新年度初めの日程変更について」（R2.3.25 付け）をよく読んでください。